



蛇崩川について

馬事公苑付近が源流で、小砂利交じりの赤土が崩れた中を、蛇のように曲がりくねって流れていたため、「蛇崩川」と呼ばれていた。

蛇崩川には、56もの橋が架かり、下流の下馬には水輪の直径が3.6メートルもある大きな水車が回って米や麦を挽いていた。

「蛇崩川」の長さは約5kmあり、上目黒で、目黒川に合流している。なお、昭和50年代に暗渠化された。

蛇崩川緑道 + 駒沢公園
緑道8km+園内2.1km